

上達したかな？スキー教室



2月16日、大島地区子ども会、ココロとカラダ健研究会、町教育委員会の共催でスキー教室が開催されました。広島県の八幡高原スキー場には町内から約70人が参加。山口県スキー連盟のコーチのもと、初めてスキーに挑戦する人から中級者まで、クラスに別れて指導を受けました。

雪の降り続ける寒い日でしたが、根気よく練習する子ども達は元気いっぱい。午後は自由行動で、家族や友人とともにスキーやそり遊びに夢中になっていました。

AED5台を寄贈

今年6月で創立20周年を迎える国際ソロプチミスト柳井（志熊菘会長・写真中央）から周防大島町へ地域活動の一環として2月27日、AED5台が寄贈されました。国際ソロプチミストは、実業界で活躍する女性、専門職に従事する女性の国際的なボランティア奉仕組織です。寄贈されたAEDは大島庁舎ほか4つの公共施設に設置されます。

※AED（自動体外式除細動器）
突然の心停止から命を救うため、電気ショックにより心臓を正常に戻す救命救急機器。



伐採竹処理に新戦力

竹林被害の防止や竹林再生、竹材の資源活用に取り組みもユニティ組織やNPO法人支援のため、町では太い竹も効率的に破砕できるチップパシュレッダを購入しました。

2月27日、機械の操作説明と実演が行われ、町内で竹林整備のボランティアを行っている団体が参加。粉碎した竹を使った堆肥づくりに活用できる細かいチップや、畑などに敷き詰める大きめのチップに切り替えも可能で、町内の希望する団体に無償で貸し出し、竹林整備に活用されます。

なお、貸出期間は最長10日間、燃料費・運搬費等については借受団体の負担になります。

■問い合わせ／農林課 ☎79・1002



粉碎された竹のチップを手取る参加者